

## 海洋自然体験活動におけるライフスキル研究の必要性

K.CHIASHI<sup>1,\*</sup>, H.TOMAGO<sup>1</sup>, H.MATSUMOTO<sup>2</sup><sup>1</sup> Tokyo University of Marine Science and Technology, Japan<sup>2</sup> Tokai University, Japan

Keyword(s): 海洋自然体験活動、ライフスキル、レビュー



## 【目的】

海洋自然体験活動の教育的効果については、活動に参加することによる、生きる力、自己概念、自己効力感、EQ、海洋リテラシー等の変容に関する研究成果が認められる (Table-1)。これらの他に「日常の様々な問題や要求に対し、より建設的かつ効果的に対処するために必要な能力」と定義されるライフスキル獲得への影響も検討していく必要がある。これまでに実施された海洋自然体験活動の教育的効果に関する研究では、参加者の変容を促す要因として、遠泳、集中授業などの活動に着目したものが多く、活動に含まれる体験を扱った研究は少ない。海洋自然体験活動において参加者の変容を促すのは、活動そのものに含まれる体験であると考えられ、その体験が参加者にどう意味付けられたかを検討する必要がある。

Table-1 Previous Studies about Educational Benefits of Waterside Nature Experiences and Ocean Education

Author	publication year	Subject	Independent variable	Dependent variable	Method	Control Group
Yamashita et al.	1989	University Student(43 persons)	Voyage training(3 month)	Self-concept	Self-Differential Scale Form A(4 times)	None
Isayama et al.	1998	48 participants(5th to 10th grade)	10 Days Boarding experience (Visiting and Recreational Camp)	Self-concept	Self-Development Scale pre/post/60Days	None
Watakebe et al.	2000	247 participants(Junior high school student)	10 Days Boarding experience (Visiting and Recreational Camp)	General Self Efficacy	General Self Efficacy Scale pre/post	None
Watakebe et al.	2001	100 participants(5th to 10th grade)	10 Days Boarding experience (Visiting and Recreational Camp)	Mental Health	MHP-1 Questionnaire pre/post	None
Watakebe et al.	2002	Schoolchild(20 persons)	Marine Sports Camp(3 Days)	Mental Health / Social skill	MHP-1 Questionnaire / Social Skill Scale pre/post	None
Ikehata et al.	2003	University Student(126 persons)	Long-distance swim(4 Days)	Anxiety/Self-respect	STAI / Self-respect Questionnaire	None
kubo et al.	2003	Upper Grade Elementary School Students(147 persons)	School Water Wise(4 Days)	Self Efficacy	General Self Efficacy Scale pre/post	None
Okamura et al.	2005	34 participants	5 Day Environmental and Adventure Camp	Attitude / Image	Questionnaire pre/post/60days	None
Aoki et al.	2005	Schoolchild(267 persons)	School Water Wise(4 Days)	Zest for Living	KR Questionnaire (70 items) pre/post	None
Shindo et al.	2007	University Student(112 persons)	Intensive Course(Yacht)(5 Days)	Self Efficacy for Yacht	Questionnaire GMSGSE / Self Efficacy for Yacht	None
Yamashita	2006	University Student(28 persons)	Open Water Scuba Training(3 Days)	Zest for Living	KR Questionnaire (70 items) pre/post	None
Yano	2007	Upper Grade Elementary School Students(317 persons)	Long-distance swim(6 Days)	Zest for Living	KR Questionnaire (70 items) pre/post/90days	None
Tomago et al.	2011	University Student(16 persons)	Open Water Scuba Training(3 Days)	Environmental Attitude	Questionnaire of Environmental Attitude pre/post/60days	None
Kunieda et al.	2012	University Student(52 persons)	Voyage training(Uacan-Honolulu)	Emotional Intelligence Quotient	Competency Highlighter Easy Quickly(Ch-EQ)	None
Tomago et al.	2012	University Student(207 persons)	4 day Intensive Course(SCUBA, Long-distance swim, Windsurfing)	Ocean Literacy	Ocean Literacy Questionnaire (36 items) pre/post	None

## 【方法】

本研究では、スポーツ経験や体験活動によるライフスキル獲得に関連する研究を対象に文献調査を実施した。データベースとして CiNii を用い、「ライフスキル」「ライフスキル&スポーツ」「ライフスキル&運動」「ライフスキル&実習」「ライフスキル&野外」「ライフスキル&海」を条件としてデータベース検索を実施した。そのうち、学会における発表予稿集やエッセイなどの原稿を除き、スポーツ活動への参加とライフスキルとの関係を扱った研究を対象としてライフスキルの評価方法と研究の枠組みを検討した。

## 【結果と考察】

文献検索の結果、「ライフスキル」449件、「ライフスキル&スポーツ」79件、「ライフスキル&運動」30件、「ライフスキル&実習」11件、「ライフスキル&野外」4件、「ライフスキル&海」1件が該当した。そのうち、スポーツ活動や体験活動への参加とライフスキルとの関係を扱った実証的な研究論文は28件であった。

一連のライフスキル研究においては、ライフスキルをその一部のスキルを表記して用いた研究や、社会的スキルなどの異なる側面からライフスキルを捉えた記述が認められるなど、スキルの概念や用語の使用が研究領域によって異なっていることも指摘されている (杉山, 2005)。

また、ライフスキルを評価するための尺度の開発がいくつか行われている (上野ら: 2000年, 島本ら: 2006年・2013年, 毛ら: 2008年, グラバアら: 2009年, 杉山ら: 2010年, 青木ら: 2011年, 元嶋ら: 2014年)。

実証的な研究としては、上野らによって開発されたライフスキル尺度を用いて中学校の部活動における生徒のライフスキルを検討した研究 (日野: 2010年)、島本らの開発した日常生活スキル尺度を援用して大学生のライフスキルとスポーツ経験の関係を検討した研究 (中井ら: 2011年)、大学期における課外活動とライフスキルの関係を検討した研究 (平井ら: 2012)、井伊ら (2006) のライフスキル尺度を援用して授業を通じた学生の変化を検討した研究 (高山: 2014年) などがある。

このほか、大学生アスリートの臨床例からライフスキル教育の可能性を述べた研究 (津田: 2007年)、スポーツ選手を対象としたライフスキル教育プログラム開発に関する研究 (松野ら: 2009年~) がある。

自然体験活動を対象とした研究では、自然体験効果尺度 (谷井: 2001年) を利用した研究 (高山: 2009年・2010年) や社会的スキル教育について述べた研究 (西田: 2005年) がある。海洋教育の分野では、島本ら (2006年) の日常生活スキル尺度を練習船実習の効果測定として検討したもののみとなっている。野外教育の分野においては、ライフスキルに関する研究は非常に少ないのが現状である。

## 【結論】

ライフスキルの評価方法では、いくつかの異なった評価尺度が開発され、利用されていた。海洋自然体験におけるライフスキル向上を検討するためには、研究の枠組みを再検討する必要があると考えられた。

研究の枠組みに関する課題としては、ライフスキルを獲得する理論に基づいて構成された体験活動を評価する実践研究、体験内容に焦点を当てた研究、心理的側面を変数として扱う実証的研究の必要性が示唆された。

## Additional remark

\*This research was supported by a Grant-in-Aid for Scientific Research (C) General (15K01516)